

本書に下記の誤りがございました。下記の通り訂正いたしますとともに、読者の皆様に深くお詫び申し上げます。

p.14 右段 下から8行目

誤： 10ppm (0.001%)

正： **6ppm (0.0006%)**

p.15 左段 13行目

誤： 日本工業規格

正： **日本産業規格**

p.15 表 1・1・3

【温度】

誤： 17℃以上

正： **18℃以上**

【一酸化炭素】

誤： 10ppm (0.001%)

正： **6ppm (0.0006%)**

p.16 左段 5行目～

誤： $Q = \alpha \times A \times v \times \sqrt{C_1 - C_2}$ [m³/h]

Q ：換気量×3,600 [m³/s] = [m³/h]

正： $Q = \alpha \times A \times v \times \sqrt{C_1 - C_2}$ (単位なし)

Q ：換気量×3,600 [m³/s] = [m³/h]

※秒[s]を時間[h]に換算する。1h=3,600s (追加)

p.16 左段下から5行目

誤： C_1 ：風上側風圧係

正： C_1 ：風上側風圧係**数**

p.18 表 1・1・5 必要換気量の単位

誤： m³／(m²・人)

正： m³／(m²・**h**)

p.24 右段 下から3行目、p25 左段 1行目

誤： 熱貫流量 Q [W/m²]

正： 熱貫流量 Q [W]

p.43 右段 下から 4 行目、p.44 左段 2 行目

誤： 実行放射

正： 実効放射

p.46 右段 3 行目

誤： 日射遮係数、日射遮性能

正： 日射遮蔽係数、日射遮蔽性能

p.70 右段 下から 2 行目

誤： ②入室人数が多い

正： ②在室人数が少ない

p.71 (3) ①セイビン式

誤： $T=0.16 \times \frac{V}{\alpha} \times S=0.16 \times \frac{V}{A}$

正： $T=0.16 \times \frac{V}{\alpha \times S}=0.16 \times \frac{V}{A}$

p.71 右段 4 行目

誤： 吸音力：各部位の表面積＋その部分の吸音率

正： 吸音力：各部位の表面積×その部分の吸音率

p.79 左段 3 行目、p.81 左段 1 行目

誤： 日本工業規格

正： 日本産業規格

p.97 演習問題 4)

誤： ラニーニョ現象

正： ラニーニャ現象

p.147 建築士チャレンジ問題【1】

誤： 2) 都市ガスは空気より重いため…

正： 2) 液化石油ガスは空気より重いため…

p.152 (3) 電気設備 b)電線

誤： 配電電圧が 400V より 200V のほうが、電線は細いものを使用することができる。

正： 配電電圧が 200V より 400V のほうが、電線は細いものを使用することができる。

p.152 表 2・6・1

区分：直流と交流が逆になっていました。

p163 b) ドレンチャー設備

誤：延焼を防止する消火設備である。

正：延焼を防止する**防火設備**である。

誤：外部からの延焼を防止するため、ドレンチャーヘッドから放水し、水膜をつくる消火設備であり、

正：**ドレンチャーヘッドから放水して水膜をつくり、外部からの延焼を防止するもので、**

p.209 図 3・5・13 表右上

誤：明るい色のコンクリート

正：**暗い**色のコンクリート

p.215 1 室内空気演習問題 1) 1 行目

誤： $Q=\cdots=1.276$ [m^3/h]

正： $Q=\cdots=1.276$ [m^3/s]

以上